



(5) 献血への関心度 (Q4)

- 『献血』に対する関心度をみると、関心あり層の45.8%（そのうち、非常に関心がある:5.2%）に対して、関心なし層が54.2%（うち、全く関心がない:8.6%）と、“無関心派”がやや上回る。
- 職業別では、他層に比べて専業主婦で関心あり層の割合が高い。
- 性別では、男性に比べて女性の関心度が高く、関心あり層の割合は男性を18ポイント上回る。
- 地域別では、九州の関心度が他地域に比べて高くなっている。

- 17年度調査との比較でみると、全体では関心あり層が52.2%→45.8%へ6ポイント低下した。
- 職業別にみると、関心度の高い専業主婦を除く各層の関心度が低下傾向となっている。また、男女ともに関心度が低下している。
- 地域別では、北海道、関東甲信越、東海北陸、近畿等において関心度がやや低下。



(5) 献血への関心度 (Q4)

Q4. 献血について関心がありますか。

【基数:対象者全員】		(N)	(%)				関心がある(計)	関心がない(計)	
			非常に関心がある	関心がある	特に関心がない	全く関心がない			
全体	20年	(5000)	5.2	40.7	45.5	8.6	45.8	54.2	
	17年	(5000)	6.4	45.8	40.3	7.5	52.2	47.8	
高校生	20年	(626)	7.5	39.5	44.6	8.5	47.0	53.0	
	17年	(398)	12.8	46.7	34.2	6.3	59.5	40.5	
大学生・専門学校生	20年	(1484)	6.0	41.4	45.2	7.3	47.4	52.6	
	17年	(932)	8.0	49.4	35.1	7.5	57.4	42.6	
会社員	20年	(1545)	3.4	39.4	47.6	9.6	42.7	57.3	
	17年	(1596)	4.4	43.4	42.9	9.3	47.8	52.2	
公務員	20年	(85)	4.7	38.8	45.9	10.6	43.5	56.5	
	17年	(104)	3.8	48.1	43.3	4.8	51.9	48.1	
自営業	20年	(134)	6.7	34.3	45.5	13.4	41.0	59.0	
	17年	(115)	7.8	47.8	41.7	2.6	55.7	44.3	
専業主婦	20年	(423)	5.4	48.0	42.3	4.3	53.4	46.6	
	17年	(856)	6.1	46.7	41.5	5.7	52.8	47.2	
その他	20年	(703)	5.0	40.0	44.4	10.7	45.0	55.0	
	17年	(999)	5.6	44.8	41.9	7.6	50.5	49.5	
性別	男性	20年	(2556)	3.0	34.5	51.4	11.2	37.5	62.5
	17年	(1688)	4.6	40.2	45.1	10.1	44.8	55.2	
女性	20年	(2444)	7.5	47.1	39.4	6.0	54.6	45.4	
	17年	(3312)	7.3	48.7	37.8	6.2	55.9	44.1	
地域別	北海道	20年	(210)	6.7	40.0	42.9	10.5	46.7	53.3
		17年	(200)	5.5	47.5	41.0	6.0	53.0	47.0
	東北	20年	(355)	4.2	46.2	46.5	3.1	50.4	49.6
		17年	(350)	5.7	44.3	42.0	8.0	50.0	50.0
	関東甲信越	20年	(1825)	4.3	39.1	45.3	11.3	43.4	56.6
		17年	(1800)	5.7	45.3	41.1	7.9	51.1	48.9
	東海北陸	20年	(780)	4.6	38.8	48.8	7.7	43.5	56.5
		17年	(750)	6.5	47.3	36.9	9.2	53.9	46.1
	近畿	20年	(816)	5.9	40.4	46.7	7.0	46.3	53.7
		17年	(850)	6.8	45.8	40.8	6.6	52.6	47.4
	中国・四国	20年	(431)	5.1	39.9	48.0	7.0	45.0	55.0
		17年	(450)	7.1	42.7	43.8	6.4	49.8	50.2
九州・沖縄	20年	(583)	7.9	45.6	38.9	7.5	53.5	46.5	
	17年	(600)	7.5	48.2	37.5	6.8	55.7	44.3	



(6) 献血が病気の治療に役立っていることの認知 (Q5)

<新規質問>

- 『献血』がさまざまな病気の治療に役立っていることは、ほぼ半数の48.0%が認知している。
- 認知率は、職業別・性別・地域別のいずれでも、各層でそれほど違いはみられない。



(6) 献血が病気の治療に役立っていることの認知 (Q5)

Q5. 献血は患者さんに対する輸血だけでなく、献血を原料とした血液製剤として、さまざまな病気の治療に役立っていることを知っていますか。

【基数:対象者全員】		(N)	知っている	知らない
全体		(5000)	48.0	52.0
職業別	高校生	(626)	47.4	52.6
	大学生・専門学校生	(1484)	50.5	49.5
	会社員	(1545)	46.3	53.7
	公務員	(85)	48.2	51.8
	自営業	(134)	48.5	51.5
	専業主婦	(423)	48.9	51.1
	その他	(703)	46.5	53.5
性別	男性	(2556)	48.3	51.7
	女性	(2444)	47.7	52.3
地域別	北海道	(210)	48.1	51.9
	東北	(355)	47.6	52.4
	関東甲信越	(1825)	46.1	53.9
	東海北陸	(780)	48.8	51.2
	近畿	(816)	49.8	50.2
	中国・四国	(431)	49.7	50.3
	九州・沖縄	(583)	49.6	50.4



(7)若年層の献血協力者の減少傾向認知 (Q6)

<新規質問>

- 近年、『献血』へ協力してくれる10代・20代の若年層が大幅に減少していることを「知っている」という人は37.3%。
- 職業別にみると、公務員の認知率が他層に比べて高い。なお、大学・専門学校生の認知率は40.2%、高校生は33.7%と1/3程度にとどまる。
- 認知率は、男女間で差はなく、地域別でもそれほど違いはみられない。



(7)若年層の献血協力者の減少傾向認知 (Q6)

Q6. 献血へ協力して下さる若い方の数が、近年大幅に減っています(＊)。知っていましたか。

＊最近5年間で20代の献血者数は161万8千人から113万5千人(30%減)に、10代の献血者数は、56万4千人から32万4千人(43%減)に減少しています。

【基数:対象者全員】		(N)	知っている	知らない
全体		(5000)	37.3	62.7
職業別	高校生	(626)	33.7	66.3
	大学生・専門学校生	(1484)	40.2	59.8
	会社員	(1545)	36.7	63.3
	公務員	(85)	52.9	47.1
	自営業	(134)	36.6	63.4
	専業主婦	(423)	35.7	64.3
	その他	(703)	34.6	65.4
性別	男性	(2556)	37.0	63.0
	女性	(2444)	37.5	62.5
地域別	北海道	(210)	39.5	60.5
	東北	(355)	42.8	57.2
	関東甲信越	(1825)	35.5	64.5
	東海北陸	(780)	36.9	63.1
	近畿	(816)	37.9	62.1
	中国・四国	(431)	40.1	59.9
	九州・沖縄	(583)	36.2	63.8



(1) 献血に関する広報接触媒体 (Q7)

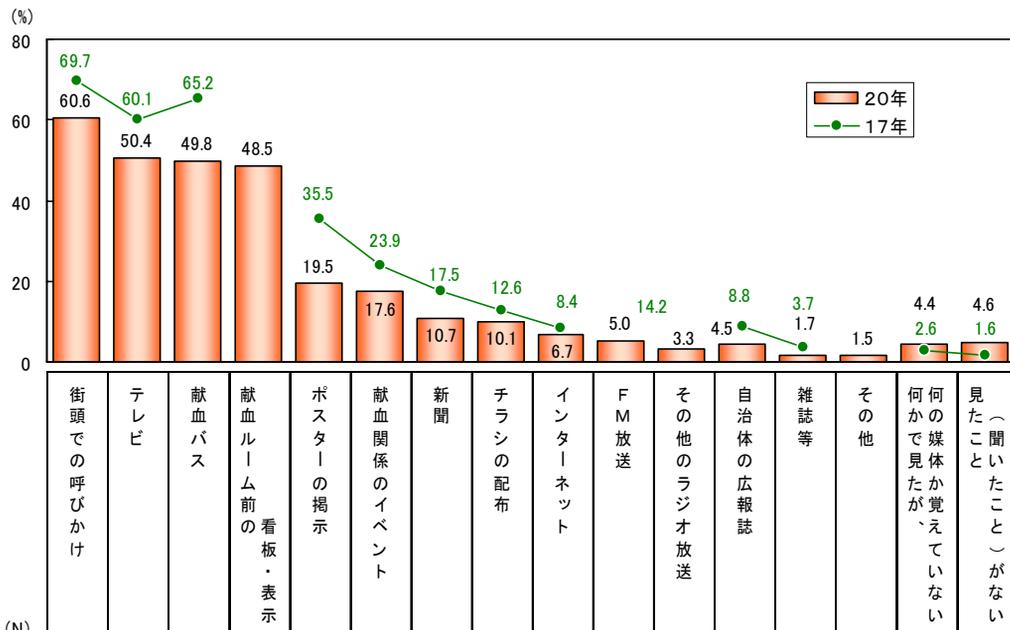
- 『献血』に関して接触したことがある広報媒体をみると、最も高いのが「街頭での呼びかけ」で60.6%。以下、「テレビ」(50.4%)、「献血バス」(49.8%)、「献血ルーム前の看板・表示」(48.5%)の順で続き、以上が主要な媒体となっている。
- 職業別にみると、「街頭での呼びかけ」は大学生・専門学校生と専業主婦でやや高い。また専業主婦は「献血バス」「献血ルーム前の看板・表示」も高く、現場での接触が目立つ。一方、高校生は「街頭での呼びかけ」「献血バス」「献血ルーム前の看板・表示」「献血関係のイベント」など、総じて低い。
- 性別では、「街頭での呼びかけ」「献血バス」「献血ルーム前の看板・表示」での接触率が男性に比べて女性が高いが目立つ。
- 地域別では、「街頭の呼びかけ」は北海道、中国・四国、九州・沖縄でやや低い。「テレビ」は東北で高く、関東甲信越で低い。一方、「献血ルーム前の看板・表示」は東海北陸、中国・四国、九州・沖縄で他地域よりも低い。

- 17年度調査と比較すると、「街頭での呼びかけ」「テレビ」「献血バス」といった主要な広報媒体をはじめ、「ポスターの掲示」「献血関係のイベント」「新聞」など、総じて接触率が低下している。
- 属性別にみても、職業別・性別・地域別のいずれも主要媒体の接触率は、各層でほぼ低下傾向となっている。
- なお、高校生や自営業では、いずれも見たこと(聞いたこと)がないが1割弱まで増加している。



(1) 献血に関する広報接触媒体 (Q7)

Q7. 献血に関して、どのような広報媒体を見たこと(聞いたこと)がありますか。(いくつでも)



【基数:対象者全員】

		(N)	(%)															
			20年	17年	20年	17年	20年	17年	20年	17年								
全体	20年	(5000)	60.6	50.4	49.8	48.5	19.5	17.6	10.7	10.1	6.7	5.0	3.3	4.5	1.7	1.5	4.4	4.6
	17年	(5000)	69.7	60.1	65.2	35.5	23.9	17.5	12.6	8.4	14.2	8.8	3.7	2.6	1.6			
職業別	高校生	20年 (626)	42.0	50.2	36.3	36.6	19.2	12.0	12.3	13.4	8.6	4.3	2.7	4.5	1.4	2.6	8.5	8.0
	17年 (398)	56.5	61.1	53.8	33.7	21.9	18.6	18.3	12.8	13.1	5.8	5.8	2.8	2.5				
	大学生・専門学校生	20年 (1484)	65.8	49.1	53.7	50.5	20.7	19.3	10.0	11.6	7.3	4.5	3.4	2.9	1.9	1.8	3.4	4.5
	17年 (932)	73.0	61.2	69.4	39.5	29.2	16.8	17.8	9.8	14.2	7.0	3.8	2.7	1.9				
	会社員	20年 (1545)	63.2	48.0	48.3	51.5	18.7	18.0	10.3	8.6	5.3	5.8	3.0	4.7	1.4	0.8	3.5	4.3
	17年 (1596)	71.6	57.0	65.5	34.6	23.4	17.5	10.3	7.4	15.8	7.7	3.1	2.4	1.7				
	公務員	20年 (85)	58.8	45.9	51.8	50.6	18.8	27.1	11.8	14.1	5.9	4.7	2.4	14.1	1.2	-	-	3.5
	17年 (104)	79.8	64.4	65.4	43.3	33.7	22.1	17.3	5.8	24.0	21.2	6.7	3.8	2.9				
自営業	20年 (134)	55.2	48.5	42.5	40.3	16.4	14.9	13.4	8.2	9.0	8.2	3.7	6.7	2.2	0.7	5.2	8.2	
17年 (115)	68.7	66.1	60.0	34.8	20.0	18.3	14.8	7.8	16.5	18.3	3.5	3.5	0.9	1.9	3.8	2.4		
専業主婦	20年 (423)	66.9	53.0	61.7	56.5	21.0	20.8	7.8	9.5	3.3	4.0	2.1	4.5	0.9	1.9	3.8	2.4	
17年 (856)	73.6	57.6	68.9	34.6	25.0	15.1	9.8	4.0	9.1	14.0	2.6	1.9	0.6					
その他	20年 (703)	57.8	57.9	50.9	44.8	18.6	15.6	12.7	7.8	8.4	4.7	5.1	6.3	2.7	1.4	5.8	3.3	
17年 (999)	64.6	64.9	62.8	34.1	19.3	18.9	10.7	11.1	15.0	6.5	4.5	3.0	1.8					
性別	男性	20年 (2556)	54.7	49.2	43.4	41.2	18.0	13.8	11.8	9.3	7.4	5.9	4.2	4.5	1.4	1.3	5.4	6.1
	17年 (1688)	62.6	61.4	58.6	29.6	20.9	19.3	11.4	11.1	16.6	6.6	3.7	3.7	2.8				
女性	20年 (2444)	66.7	51.6	56.5	56.2	21.0	21.6	9.6	11.0	5.9	4.1	2.4	4.6	2.0	1.7	3.4	3.0	
17年 (3312)	73.3	59.5	68.6	38.6	25.5	16.5	13.2	7.0	12.9	9.9	3.7	2.0	1.1					
地域別	北海道	20年 (210)	46.7	49.5	49.0	49.5	26.2	15.7	12.9	6.7	10.5	4.3	6.2	5.7	1.4	1.4	4.3	5.7
	17年 (200)	60.5	59.0	64.5	41.0	15.5	19.5	7.5	12.0	15.5	8.0	5.0	3.5	3.5				
	東北	20年 (355)	58.9	67.3	50.4	50.4	22.8	23.4	16.3	15.8	8.5	10.1	5.4	7.9	3.1	1.4	3.4	1.7
	17年 (350)	64.6	66.6	67.1	37.1	25.1	23.7	11.7	6.0	19.1	12.9	2.9	2.0	2.3				
	関東甲信越	20年 (1825)	67.2	41.2	47.9	56.5	17.0	15.5	8.0	8.3	5.8	3.5	2.4	3.5	1.5	1.3	2.6	5.8
	17年 (1800)	76.8	54.1	61.4	33.4	19.7	12.8	9.9	7.0	9.7	6.2	3.3	2.2	1.6				
	東海北陸	20年 (780)	56.9	48.2	45.3	39.9	19.7	17.6	12.8	10.9	6.4	5.6	2.2	4.4	2.2	1.9	7.4	5.5
	17年 (750)	65.3	55.5	64.3	33.3	28.3	18.3	13.6	7.9	13.7	10.9	3.7	3.1	3.1				
近畿	20年 (816)	63.7	57.1	56.3	46.1	20.1	15.2	10.0	10.2	5.9	3.9	3.3	4.4	1.2	1.1	4.3	2.3	
17年 (850)	69.3	68.1	71.5	36.9	23.9	17.3	13.4	10.4	14.1	7.1	3.8	1.9	0.7					
中国・四国	20年 (431)	49.4	58.7	51.3	42.2	21.1	20.9	13.0	11.1	7.7	4.9	5.3	5.6	1.6	1.9	6.0	3.7	
17年 (450)	64.7	64.0	72.0	40.2	30.4	24.4	18.4	9.1	15.3	11.1	4.2	2.2	1.1					
九州・沖縄	20年 (583)	54.5	56.4	51.6	41.7	20.4	22.5	11.3	11.8	7.9	7.5	4.3	5.1	1.7	1.9	5.8	5.0	
17年 (600)	64.2	66.3	62.8	36.3	28.7	21.0	15.8	10.2	23.8	12.3	4.5	4.3	0.7					

注: 17年は「献血ルーム前の看板・表示」「その他」の回答肢なし。また、「FM放送」「その他のラジオ放送」は17年の回答肢は「ラジオ」のみ。



(2) 献血キャンペーンに効果的だと思う媒体 (Q8)

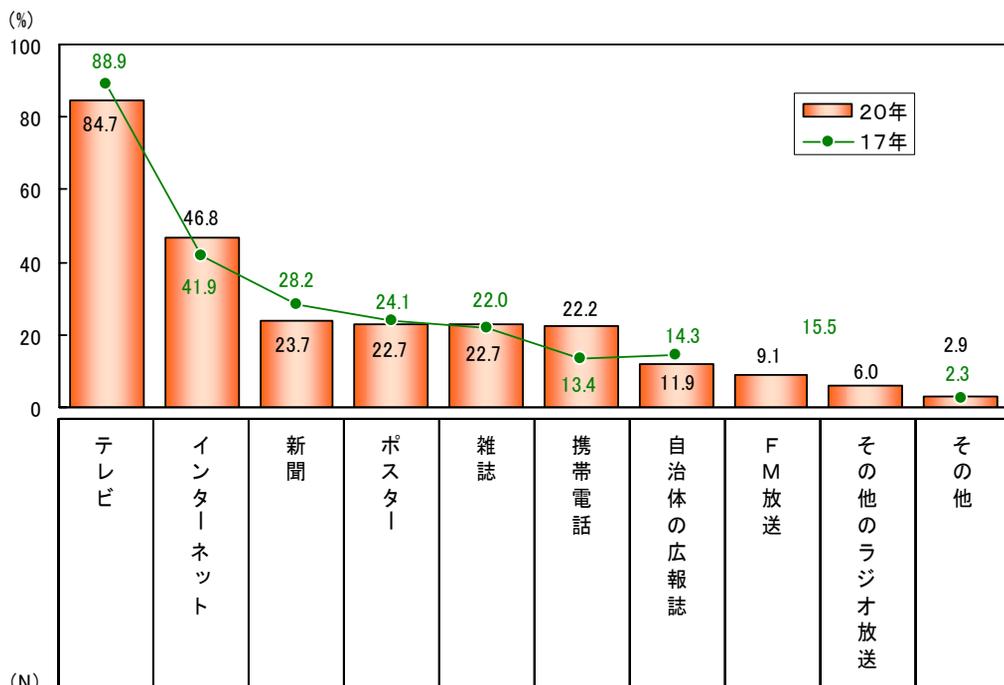
- 『献血』のキャンペーンを行う際に効果的だと思われる媒体をいつでも挙げてもらったところ、「テレビ」が84.7%で圧倒的に高い。次いで「インターネット」が46.8%で続く。以下、「新聞」(23.7%)「ポスター」(22.7%)「雑誌」(22.7%)「携帯電話」(22.2%)等が2割強。
- 職業別にみると、各層とも「テレビ」「インターネット」中心は変わらない。その中で高校生は他層より「インターネット」がやや低く、逆に「携帯電話」がやや高い。専業主婦・公務員で「自治体の広報誌」を挙げる割合がやや高く、専業主婦はその他にも「新聞」「雑誌」が他層よりもやや高い。
- 性別では、男性よりも女性の方が「雑誌」を挙げる割合が高い。
- 地域別では、「新聞」は北海道、中国・四国、「携帯電話」は東北でそれぞれやや高くなっている。

- 17年度調査と比較すると、「インターネット」「携帯電話」を挙げる割合が高まっている。なお、前回の「ラジオ」に関しては、今回「FM放送」「その他のラジオ放送」に回答肢を分割したので参考程度。
- 属性別にみても、職業別・性別・地域別を通して、総じて各層とも「インターネット」「携帯電話」が効果的とする傾向が強まっている。
- それ以外では、「テレビ」は大学生・専門学校生、公務員、自営業で、「新聞」は会社員、公務員、自営業で、「ポスター」「雑誌」については高校生と公務員で、それぞれ前回よりやや低下した。なお、「新聞」は男性でもやや下がった。



(2) 献血キャンペーンに効果的だと思う媒体 (Q8)

Q8. 献血のキャンペーンを行う際の効果的な媒体は何だと思いますか。(いくつでも)



【基数:対象者全員】

		(N)											(%)
			20年	17年	テレビ	インターネット	新聞	ポスター	雑誌	携帯電話	自治体の広報誌	F M放送	
全体	20年	(5000)	84.7	46.8	23.7	22.7	22.7	22.2	11.9	9.1	6.0	2.9	
	17年	(5000)	88.9	41.9	28.2	24.1	22.0	13.4	14.3	15.5	2.3		
職業別	高校生	20年	(626)	86.3	40.9	25.2	22.4	20.6	28.0	9.4	7.8	5.8	2.2
		17年	(398)	86.9	41.2	30.2	30.7	27.1	22.4	12.6	12.8	1.3	
	大学生・専門学校生	20年	(1484)	83.2	46.6	23.9	24.6	24.2	25.4	9.7	8.2	5.6	3.2
		17年	(932)	88.4	42.3	25.2	26.5	21.7	13.9	12.0	12.7	2.3	
	会社員	20年	(1545)	84.1	46.5	20.7	19.5	20.3	19.4	11.5	9.6	6.0	2.4
		17年	(1596)	87.3	42.0	27.0	21.8	21.4	11.8	12.4	16.9	2.1	
	公務員	20年	(85)	87.1	51.8	21.2	12.9	21.2	18.8	18.8	12.9	8.2	1.2
		17年	(104)	92.3	39.4	26.9	23.1	28.8	10.6	17.3	21.2	1.0	
自営業	20年	(134)	79.9	44.0	20.9	19.4	19.4	13.4	13.4	9.7	6.7	3.0	
	17年	(115)	88.7	47.0	29.6	24.3	16.5	13.0	19.1	21.7	3.5		
専業主婦	20年	(423)	89.1	45.2	30.0	25.5	29.8	17.0	21.5	8.5	4.7	2.1	
	17年	(856)	92.6	38.0	30.4	24.1	21.7	9.3	21.5	15.1	1.3		
その他	20年	(703)	85.6	54.2	25.7	26.5	23.0	21.8	12.8	11.0	7.5	4.4	
	17年	(999)	89.1	44.6	30.1	22.8	21.6	15.5	12.9	16.3	3.8		
性別	男性	20年	(2556)	81.8	47.8	22.7	19.6	17.6	22.8	9.8	9.4	6.3	3.1
		17年	(1688)	85.8	44.1	27.8	20.4	16.0	15.0	11.0	16.4	2.5	
女性	20年	(2444)	87.7	45.8	24.9	26.0	27.9	21.6	14.1	8.9	5.7	2.7	
	17年	(3312)	90.5	40.8	28.4	25.9	25.1	12.6	15.9	15.1	2.1		
地域別	北海道	20年	(210)	88.1	47.6	30.5	26.2	26.2	21.9	14.8	7.6	8.6	1.9
		17年	(200)	88.5	41.5	35.0	26.0	22.0	13.0	13.0	20.0	2.5	
	東北	20年	(355)	85.1	45.9	25.6	22.0	21.1	27.3	16.1	9.9	8.2	3.1
		17年	(350)	89.7	38.0	27.7	21.7	19.1	10.6	20.0	18.3	3.1	
	関東甲信越	20年	(1825)	83.6	46.3	22.4	22.2	23.3	21.9	9.1	8.1	5.5	3.0
		17年	(1800)	88.2	44.9	25.8	24.6	24.3	14.5	12.9	12.7	2.9	
	東海北陸	20年	(780)	84.6	48.3	24.1	21.2	21.2	19.7	12.3	10.5	5.3	3.5
		17年	(750)	90.0	41.1	28.0	22.1	21.3	12.9	15.7	16.7	1.2	
近畿	20年	(816)	85.0	47.9	20.7	22.4	21.8	22.3	11.3	7.6	4.7	2.6	
	17年	(850)	90.1	40.5	26.2	24.5	20.4	14.2	10.9	14.0	2.1		
中国・四国	20年	(431)	85.2	47.1	29.9	24.4	22.0	21.1	15.8	10.2	8.4	2.3	
	17年	(450)	89.1	40.2	34.7	25.3	21.1	11.8	16.7	16.7	0.9		
九州・沖縄	20年	(583)	85.9	45.1	23.5	24.9	24.0	24.0	14.6	11.8	6.7	2.9	
	17年	(600)	87.5	39.3	31.5	24.0	20.8	12.3	16.5	21.0	2.5		

注:「FM放送」「その他のラジオ放送」は17年の回答肢は「ラジオ」のみ。



(3) 献血キャラクター「けんけつちゃん」認知 (Q9)

- 献血キャラクターの『けんけつちゃん』の認知率は7.2%。
- 職業別にみると、高校生、大学性・専門学校生の認知率が1割強と他層よりもやや高い。また、男性よりも女性の認知率がやや上回り、地域別では、東北でやや高くなっている。

- 17年度調査と比較すると、認知率は3.0%→7.2%へと4ポイントアップしたが、それでも未だ1割には届かず、浸透度は広がっていない。
- 属性別にみると、今回比較的認知率が高かった、高校生、大学性・専門学校生、および女性において認知率は6～7ポイント程度上昇した。また、東北で最も認知率が高まっている。



(3) 献血キャラクター「けんけつちゃん」認知 (Q9)

Q9. 厚生労働省では献血推進のためのキャラクターとして「けんけつちゃん」を作成していますが、知っていますか。

【基数:対象者全員】		(N)	知っている	知らない	(%)		
全 体	20年	(5000)	7.2	92.8			
	17年	(5000)	3.0	97.0			
職業別	高校生	20年	(626)	12.0	88.0		
		17年	(398)	5.0	95.0		
	大学生・専門学校生	20年	(1484)	10.6	89.4		
		17年	(932)	3.5	96.5		
	会社員	20年	(1545)	4.6	95.4		
		17年	(1596)	2.5	97.5		
	公務員	20年	(85)	7.1	92.9		
		17年	(104)	6.7	93.3		
	自営業	20年	(134)	3.7	96.3		
		17年	(115)	0.9	99.1		
	専業主婦	20年	(423)	3.5	96.5		
		17年	(856)	3.0	97.0		
	その他	20年	(703)	4.4	95.6		
		17年	(999)	2.1	97.9		
	性別	男性	20年	(2556)	4.8	95.2	
			17年	(1688)	2.4	97.6	
女性		20年	(2444)	9.7	90.3		
		17年	(3312)	3.3	96.7		
地域別	北海道	20年	(210)	3.3	96.7		
		17年	(200)	0.5	99.5		
	東北	20年	(355)	12.7	87.3		
		17年	(350)	4.0	96.0		
	関東甲信越	20年	(1825)	7.8	92.2		
		17年	(1800)	3.2	96.8		
	東海北陸	20年	(780)	7.9	92.1		
		17年	(750)	2.8	97.2		
	近畿	20年	(816)	5.6	94.4		
		17年	(850)	2.1	97.9		
	中国・四国	20年	(431)	6.0	94.0		
		17年	(450)	3.3	96.7		
九州・沖縄	20年	(583)	5.7	94.3			
	17年	(600)	3.5	96.5			



(4) 献血キャンペーン認知 (Q10)

- 献血キャンペーンのことを「知っている」と回答した人は14.7%。
- 職業別にみると、他層に比べて公務員の認知率がやや高い。また、男性に比べて女性の認知率がやや高い。地域別では、東北でやや高くなっている。

- 17年度調査と比較すると、認知率は25.9%→14.7%へと、11ポイント低下している。
- 属性別にみても、各層とも認知率は低下傾向となっている。特に、公務員で落ち込みが目立つ。また、地域別では、近畿、九州・沖縄で認知率の低下が目立つ。



(4) 献血キャンペーン認知 (Q10)

Q10. 献血に関するキャンペーンを知っていますか。

(毎年7月:愛の血液助け合い運動 毎年1~2月:「はたちの献血」キャンペーン)

【基数:対象者全員】			(%)	
(N)			知っている	知らない
全体	20年	(5000)	14.7	85.3
	17年	(5000)	25.9	74.1
高校生	20年	(626)	12.9	87.1
	17年	(398)	18.3	81.7
大学生・専門学校生	20年	(1484)	15.1	84.9
	17年	(932)	25.5	74.5
会社員	20年	(1545)	14.4	85.6
	17年	(1596)	26.1	73.9
公務員	20年	(85)	20.0	80.0
	17年	(104)	38.5	61.5
自営業	20年	(134)	15.7	84.3
	17年	(115)	23.5	76.5
専業主婦	20年	(423)	14.2	85.8
	17年	(856)	27.1	72.9
その他	20年	(703)	15.4	84.6
	17年	(999)	27.1	72.9
性別	20年	(2556)	11.6	88.4
	17年	(1688)	19.4	80.6
女性	20年	(2444)	17.8	82.2
	17年	(3312)	29.3	70.7
地域別	20年	(210)	12.9	87.1
	17年	(200)	23.5	76.5
東北	20年	(355)	20.3	79.7
	17年	(350)	32.3	67.7
関東甲信越	20年	(1825)	13.4	86.6
	17年	(1800)	21.2	78.8
東海北陸	20年	(780)	12.6	87.4
	17年	(750)	21.5	78.5
近畿	20年	(816)	15.4	84.6
	17年	(850)	31.1	68.9
中国・四国	20年	(431)	16.0	84.0
	17年	(450)	30.7	69.3
九州・沖縄	20年	(583)	16.5	83.5
	17年	(600)	32.0	68.0



(5) 「HOP STEP JUMP」を配布された記憶 (Q11)

- 高校3年生を対象に、『HOP STEP JUMP』という普及啓発資材が配布されていることを認知している人は9.6%と1割程度。授業で使用した経験がある人は2.2%にとどまる。
- 職業別にみると、(現役)高校生や大学生・専門学校生といった、より若い世代の認知率がやや高い。それでも認知率は10%台にとどまる。

- 17年度調査と比較すると、認知率は7.1%→9.6%へと、若干上昇している。
- 職業別にみると、大きな動きはないが、会社員、自営業以外は、いずれも認知率がやや上昇。性別・地域別でも、各層とも認知率が若干高まる。



(5) 「HOP STEP JUMP」を配布された記憶 (Q11)

Q11. 平成2年から全国の高校3年生を対象に、献血に関する普及啓発資材「HOP STEP JUMP」を配布していますが、学校で配られた記憶はありますか。

【基数:対象者全員】		(N)	(%)				認知 (計)
			保健体育の授業で 使用した	他の授業で使用した	配布されただけ	知らない	
全 体	20年	(5000)	7.4	1.7	90.4	0.6	9.6
	17年	(5000)	5.8	1.0	92.9	0.3	7.1
高 校 生	20年	(626)	15.0	2.6	81.6	0.8	18.4
	17年	(398)	13.6	1.5	84.7	0.3	15.3
大学生・専門学校生	20年	(1484)	10.3	2.5	86.2	1.0	13.8
	17年	(932)	9.2	1.7	88.5	0.6	11.5
会 社 員	20年	(1545)	3.9	0.3	95.1	0.2	4.9
	17年	(1596)	4.4	0.3	94.5	0.3	5.5
公 務 員	20年	(85)	5.9	1.2	91.8	1.2	8.2
	17年	(104)	3.8	0.0	96.2	0.0	3.8
自 営 業	20年	(134)	5.2	1.5	93.3	0.0	6.7
	17年	(115)	5.2	2.8	92.2	0.0	7.8
専 業 主 婦	20年	(423)	5.4	0.6	93.6	0.5	6.4
	17年	(856)	4.4	0.9	94.9	0.1	5.1
そ の 他	20年	(703)	4.3	1.0	94.5	0.4	5.5
	17年	(999)	3.2	0.3	95.8	0.3	4.2
性 別	20年	(2556)	7.1	1.9	91.1	0.2	8.9
	17年	(1688)	6.1	1.0	92.6	0.3	7.4
女 性	20年	(2444)	7.8	1.7	89.7	0.8	10.3
	17年	(3312)	5.7	1.0	93.1	0.3	6.9
地 域 別	20年	(210)	8.1	1.2	90.0	1.0	10.0
	17年	(200)	6.5	0.5	93.0	0.0	7.0
北 海 道	20年	(355)	10.7	1.4	87.6	0.3	12.4
	17年	(350)	6.0	1.7	92.0	0.3	8.0
東 北	20年	(1825)	6.2	1.4	91.5	0.9	8.5
	17年	(1800)	5.4	1.0	93.2	0.3	6.8
関 東 甲 信 越	20年	(780)	9.2	1.8	88.6	0.4	11.4
	17年	(750)	6.9	1.3	91.6	0.1	8.4
東 海 北 陸	20年	(816)	5.6	1.7	92.5	0.5	7.5
	17年	(850)	5.9	0.6	93.2	0.2	6.8
近 畿	20年	(431)	8.8	1.4	89.1	0.2	10.9
	17年	(450)	6.4	0.0	93.6	0.0	6.4
中 国 ・ 四 国	20年	(583)	8.2	2.7	89.7	0.0	10.3
	17年	(600)	4.8	1.2	93.3	0.7	6.7
九 州 ・ 沖 縄	20年	(210)	8.1	1.2	90.0	1.0	10.0
	17年	(200)	6.5	0.5	93.0	0.0	7.0
東 北	20年	(355)	10.7	1.4	87.6	0.3	12.4
	17年	(350)	6.0	1.7	92.0	0.3	8.0
関 東 甲 信 越	20年	(1825)	6.2	1.4	91.5	0.9	8.5
	17年	(1800)	5.4	1.0	93.2	0.3	6.8
東 海 北 陸	20年	(780)	9.2	1.8	88.6	0.4	11.4
	17年	(750)	6.9	1.3	91.6	0.1	8.4
近 畿	20年	(816)	5.6	1.7	92.5	0.5	7.5
	17年	(850)	5.9	0.6	93.2	0.2	6.8
中 国 ・ 四 国	20年	(431)	8.8	1.4	89.1	0.2	10.9
	17年	(450)	6.4	0.0	93.6	0.0	6.4
九 州 ・ 沖 縄	20年	(583)	8.2	2.7	89.7	0.0	10.3
	17年	(600)	4.8	1.2	93.3	0.7	6.7



(1) 献血では感染症に感染しないことの認知 (Q12)

- 『献血』でエイズ、肝炎といった感染症に感染しないことを認知している人は59.1%。
- 属性別による違いはあまりみられない。その中で、専業主婦の認知率が最も高く、また男性よりも女性の認知率が上回っている。

- 17年度調査と比較すると、認知率は60.9%→59.1%へと、ほぼ横ばい。
- 職業別にみると、公務員、自営業の認知率が低下している。特に、公務員の落ち込みが顕著。地域別では、北海道でやや低下している。



(1) 献血では感染症に感染しないことの認知 (Q12)

Q12. 献血でエイズ、肝炎その他の感染症に感染することはありませんが、そのことを知っていますか。

【基数:対象者全員】			(%)		
(N)			知っている	知らない	
全 体	20年	(5000)	59.1	40.9	
	17年	(5000)	60.9	39.1	
高 校 生	20年	(626)	60.5	39.5	
	17年	(398)	56.8	43.2	
大学生・専門学校生	20年	(1484)	60.9	39.1	
	17年	(932)	65.0	35.0	
会 社 員	20年	(1545)	58.5	41.5	
	17年	(1596)	60.8	39.2	
職 業 別 公 務 員	20年	(85)	60.0	40.0	
	17年	(104)	81.7	18.3	
自 営 業	20年	(134)	54.5	45.5	
	17年	(115)	63.5	36.5	
専 業 主 婦	20年	(423)	64.1	35.9	
	17年	(856)	60.5	39.5	
そ の 他	20年	(703)	53.1	46.9	
	17年	(999)	56.7	43.3	
性 別 男 性	20年	(2556)	56.3	43.7	
	17年	(1688)	59.7	40.3	
女 性	20年	(2444)	62.0	38.0	
	17年	(3312)	61.5	38.5	
地 域 別	北 海 道	20年	(210)	55.7	44.3
		17年	(200)	61.5	38.5
	東 北	20年	(355)	61.7	38.3
		17年	(350)	58.9	41.1
	関 東 甲 信 越	20年	(1825)	58.2	41.8
		17年	(1800)	58.9	41.1
	東 海 北 陸	20年	(780)	59.2	40.8
		17年	(750)	63.1	36.9
	近 畿	20年	(816)	58.7	41.3
		17年	(850)	62.7	37.3
	中 国 ・ 四 国	20年	(431)	61.9	38.1
		17年	(450)	62.4	37.6
	九 州 ・ 沖 縄	20年	(583)	59.7	40.3
		17年	(600)	61.2	38.8



(2) 血液製剤の海外血液依存の認知 (Q13)

- 《血液製剤は未だ海外の血液に依存している》ということを認知している人は14.5%。
- 職業別にみると、公務員の認知率が他層に比べてやや高い。
また、性別・地域別による差はあまりみられない。

- 17年度調査と比較すると、認知率は22.6%→14.5%へ、8ポイント低下した。
- 職業別では、各層ともほぼ10ポイント前後の低下となっている。また、地域別では九州・沖縄で最も低下している。



(2) 血液製剤の海外血液依存の認知 (Q13)

Q13. 血液製剤(*)は未だ海外の血液に依存していることを知っていますか。

*重症熱傷に用いるアルブミン製剤では、国内自給率は未だ60%台である。

【基数:対象者全員】			(%)	
	(N)		知っている	知らない
全 体	20年 (5000)		14.5	85.5
	17年 (5000)		22.6	77.4
高 校 生	20年 (626)		13.9	86.1
	17年 (398)		24.4	75.6
大学生・専門学校生	20年 (1484)		16.4	83.6
	17年 (932)		25.6	74.4
会 社 員	20年 (1545)		13.5	86.5
	17年 (1596)		23.6	76.4
職 業 別 公 務 員	20年 (85)		21.2	78.8
	17年 (104)		32.7	67.3
自 営 業	20年 (134)		17.9	82.1
	17年 (115)		29.6	70.4
専 業 主 婦	20年 (423)		10.6	89.4
	17年 (856)		19.2	80.8
そ の 他	20年 (703)		14.2	85.8
	17年 (999)		18.7	81.3
性 別 男 性	20年 (2556)		14.3	85.7
	17年 (1688)		24.8	75.2
女 性	20年 (2444)		14.8	85.2
	17年 (3312)		21.5	78.5
地 域 別 北 海 道	20年 (210)		17.1	82.9
	17年 (200)		22.5	77.5
東 北	20年 (355)		18.0	82.0
	17年 (350)		23.1	76.9
関 東 甲 信 越	20年 (1825)		13.3	86.7
	17年 (1800)		18.7	81.3
東 海 北 陸	20年 (780)		15.4	84.6
	17年 (750)		25.1	74.9
近 畿	20年 (816)		13.7	86.3
	17年 (850)		25.3	74.7
中 国 ・ 四 国	20年 (431)		17.2	82.8
	17年 (450)		23.3	76.7
九 州 ・ 沖 縄	20年 (583)		13.6	86.4
	17年 (600)		26.8	73.2



(1) 1位<最も大きな理由> (Q15)

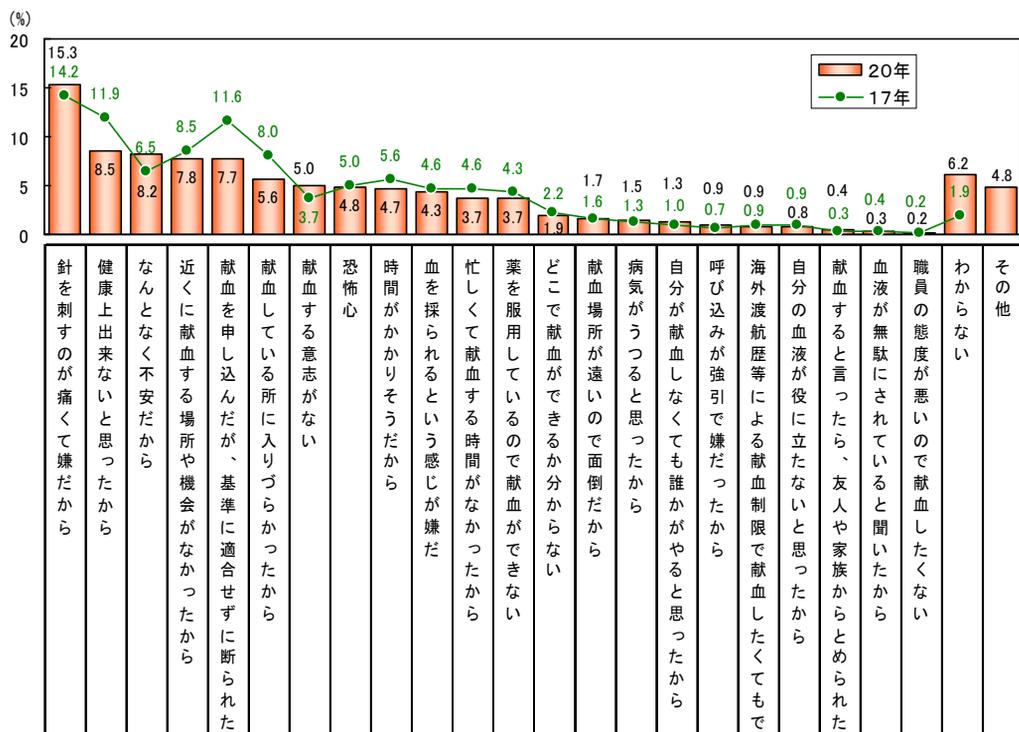
- 『献血』をしたことがない理由を大きい順に3つまで選んでもらった。
1位に挙げた理由をみると、「針を刺すのが痛くて嫌だから」がトップで15.3%。
以下、「健康上出来ないと思ったから」(8.5%)、「なんとなく不安だから」(8.2%)、「近くに献血する場所や機会がなかったから」(7.8%)、「献血を申し込んだが、基準に適合せずに断られた」(7.7%)などが1割弱で続き、以上がベスト5。
- 職業別にみると、専業主婦で「献血を申し込んだが、基準に適合せずに断られた」が他層よりもやや高い。一方、高校生は「健康上出来ないと思ったから」、公務員は「近くに献血する場所や機会がなかったから」、自営業は「針を刺すのが痛くて嫌だから」が他層よりやや低い。
- 地域別では、北海道で「献血する意志がない」とする割合が他地域に比べてやや高い。

- 17年度調査と比較すると、全体では「献血を申し込んだが、基準に適合せずに断られた」「健康上出来ないと思ったから」を理由に挙げる割合が若干減少している。
- 職業別では、「献血を申し込んだが、基準に適合せずに断られた」は高校生、自営業で前回よりやや低下。一方、公務員で「針を刺すのが痛くて嫌だから」が低下している。
- 地域別では、北海道で「針を刺すのが痛くて嫌だから」「献血する意志がない」が高まっている。



(1) 1位<最も大きな理由> (Q15)

Q15. 献血したことがないのはどのような理由からですか。
理由の大きい順に3つまでお選びください。(それぞれひとつずつ)



【基数:対象者全員】

		(N)		(%)																								
		20年	17年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20					
全体	20年	(5000)	15.3	8.5	8.2	7.8	7.7	5.6	5.0	4.8	4.7	4.3	3.7	3.7	1.9	1.7	1.5	1.3	0.9	0.9	0.8	0.4	0.3	0.2	6.2	4.8		
	17年	(5000)	14.2	11.9	6.5	8.5	11.6	8.0	3.7	5.0	5.6	4.6	4.6	4.3	2.2	1.6	1.3	1.0	0.7	0.9	0.9	0.3	0.4	0.2	1.9	4.8		
職業別	高校生	20年	(626)	15.2	2.4	8.8	12.5	3.4	6.2	5.8	5.9	3.8	3.2	4.2	1.3	3.4	1.9	0.8	1.6	0.5	0.6	0.5	0.6	0.8	0.2	5.4	11.2	
	17年	(398)	13.1	5.8	5.8	16.3	8.5	3.5	6.0	4.5	5.8	5.0	2.0	4.5	3.0	0.3	1.0	0.3	0.6	0.3	0.5	0.5	0.5	0.5	3.5	3.5		
	大学生・専門学校生	20年	(1484)	16.2	7.9	9.2	7.2	6.6	6.5	5.0	4.6	5.8	6.0	4.1	3.4	1.5	1.8	1.6	1.5	1.1	1.1	0.7	0.4	0.1	0.3	4.2	3.4	
	17年	(932)	17.0	9.3	8.5	7.0	8.0	9.1	3.1	5.5	5.6	6.0	7.0	4.2	1.4	1.2	1.1	0.8	0.3	1.4	0.6	0.3	0.6	0.2	1.8	1.8		
	会社員	20年	(1545)	15.3	8.6	8.0	6.5	9.2	5.0	5.1	4.2	4.9	4.7	3.5	3.4	1.7	1.9	1.6	1.0	1.3	1.2	1.2	0.2	0.3	0.2	6.7	4.5	
	17年	(1596)	14.2	12.8	6.5	6.8	12.2	8.1	4.4	4.6	6.1	4.6	4.6	3.9	1.6	1.7	1.7	1.1	0.8	0.6	1.0	0.3	0.4	0.3	1.9	1.9		
	公務員	20年	(85)	15.3	9.4	10.6	2.4	9.4	5.9	1.2	3.5	2.4	5.9	1.2	-	1.2	1.2	3.5	1.2	2.4	-	1.2	2.4	-	1.2	2.4	9.4	4.7
	17年	(104)	23.1	11.5	10.6	3.8	12.5	4.8	2.9	4.8	2.9	2.9	4.8	5.8	1.9	1.0	-	-	1.0	-	-	1.0	1.9	1.0	1.9	9.4	4.7	
	自営業	20年	(134)	7.5	11.9	5.2	13.4	8.2	3.7	6.0	3.0	2.2	5.2	3.0	5.2	2.2	1.5	3.7	1.5	0.7	1.5	0.7	-	-	-	7.5	6.0	
	17年	(115)	9.6	16.5	5.2	11.3	14.8	5.2	2.6	2.6	6.1	3.5	2.6	6.1	0.9	3.5	2.6	1.7	0.9	1.7	-	0.9	-	-	0.9	0.9		
専業主婦	20年	(423)	13.7	11.8	6.4	5.9	15.4	4.3	3.1	5.4	3.3	1.9	4.0	6.1	0.9	0.5	0.9	0.9	0.2	-	0.2	0.9	-	0.2	10.2	3.5		
17年	(856)	11.9	14.8	5.7	9.5	16.8	6.8	1.9	5.1	3.1	3.6	4.2	4.4	2.6	1.5	1.4	0.8	0.8	0.9	0.7	0.2	0.2	-	0.8	7.8			
その他	20年	(703)	15.6	12.1	7.3	8.4	6.0	5.3	5.5	5.4	3.8	2.6	2.6	5.8	2.6	1.4	1.6	1.6	0.6	0.3	0.7	0.4	0.3	0.1	7.1	3.0		
17年	(999)	13.8	12.4	5.6	8.9	10.5	8.1	4.8	4.9	5.7	4.2	2.7	5.5	2.7	1.4	1.4	1.3	0.8	0.8	1.4	0.3	0.2	0.2	0.3	5.4	6.4		
性別	男性	20年	(2556)	13.9	6.3	8.1	9.0	3.6	5.8	7.2	4.1	6.0	5.4	4.5	2.5	2.6	2.2	1.7	1.7	1.3	1.0	0.8	0.2	0.2	0.3	5.4	6.4	
	17年	(1688)	13.4	6.6	6.9	9.4	6.1	8.8	6.3	4.7	7.5	6.6	6.1	3.6	2.7	2.3	1.5	1.7	0.7	0.5	0.7	0.2	0.7	0.3	2.8	5.8		
女性	20年	(2444)	16.7	10.8	8.2	6.5	12.1	5.4	2.7	5.5	3.3	3.2	2.9	5.0	1.1	1.1	1.3	1.0	0.6	0.7	0.7	0.7	0.3	0.1	7.0	3.1		
17年	(3312)	14.6	14.7	6.3	8.1	14.5	7.5	2.3	5.2	4.6	3.6	3.8	4.7	1.9	1.3	1.3	0.7	0.6	1.0	0.9	0.4	0.3	0.2	1.4	1.4			
地域別	北海道	20年	(210)	18.6	7.6	4.8	7.1	7.1	5.2	10.5	4.8	2.9	2.9	3.8	4.3	1.9	1.9	1.4	-	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5	-	6.7	5.7	
	17年	(200)	10.5	8.5	7.5	12.5	11.0	9.0	5.0	3.5	6.5	5.0	6.5	3.5	4.0	2.5	1.0	0.5	-	0.5	0.5	1.0	-	-	0.5	0.5		
	東北	20年	(355)	11.0	11.0	5.6	11.3	10.1	7.9	5.6	3.9	3.7	4.2	2.8	4.2	2.3	0.8	1.7	1.1	0.6	0.6	0.3	0.8	-	-	7.0	3.4	
	17年	(350)	12.6	10.9	6.6	7.7	12.0	9.4	3.4	5.4	4.3	7.1	5.7	2.9	1.7	3.4	0.3	1.1	-	0.3	0.9	0.3	0.3	0.6	3.1	1.4		
	関東甲信越	20年	(1825)	15.4	8.5	8.6	6.0	7.3	5.5	4.9	5.5	4.9	5.6	3.3	3.7	1.5	1.3	2.0	1.4	1.2	1.1	0.5	0.4	0.2	0.1	6.2	4.8	
	17年	(1800)	14.9	12.3	8.2	7.1	9.9	7.7	3.3	4.4	6.7	4.7	4.5	4.6	1.7	0.6	1.8	1.0	0.9	1.1	1.2	0.2	0.6	0.2	2.4	2.4		
	東海北陸	20年	(780)	14.6	9.6	9.6	7.7	6.8	4.9	5.3	4.5	3.8	4.1	4.5	2.9	2.3	2.7	0.4	0.8	0.8	1.0	1.3	0.4	0.4	0.1	6.5	5.0	
	17年	(750)	11.1	12.8	6.3	8.9	12.8	9.2	4.4	4.7	4.4	4.0	4.8	5.3	3.1	2.3	0.5	0.8	0.8	0.7	0.5	0.7	0.1	0.3	1.6	1.6		
	近畿	20年	(816)	16.5	6.9	8.8	9.4	6.6	7.0	4.3	4.9	5.3	3.9	3.8	4.4	1.5	1.3	1.3	2.0	0.9	0.6	0.7	0.5	0.1	0.4	5.3	3.6	
	17年	(850)	15.5	11.8	6.0	9.1	8.9	8.1	3.2	5.9	5.5	4.9	5.1	3.6	2.4	1.3	2.0	1.4	0.6	1.1	0.6	0.2	0.5	0.2	2.1	2.1		
中国・四国	20年	(431)	16.0	10.2	6.5	8.8	6.7	3.0	3.7	3.5	5.8	2.6	4.2	3.9	2.8	2.1	1.2	1.4	0.7	1.2	1.6	0.2	0.7	0.7	6.7	5.8		
17年	(450)	14.2	14.9	4.4	9.6	10.4	7.1	4.0	6.7	4.2	6.0	2.9	5.8	0.7	2.7	0.4	1.3	0.4	1.1	1.1	0.4	0.4	-	1.1	1.1			
九州・沖縄	20年	(583)	14.8	6.7	8.1	8.4	11.3	5.5	4.6	4.1	4.6	3.1	3.8	2.9	2.2	2.1	1.5	1.5	0.9	0.5	0.5	0.2	0.5	0.2	6.0	6.0		
17年	(600)	16.3	9.7	4.0	9.7	20.0	6.3	3.8	5.0	4.2	2.3	4.0	3.2	3.2	2.3	1.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.2	0.2	0.5	0.7	0.7			

注: 17年は「その他」の回答肢なし。



(2)1位～3位累計 (Q15)

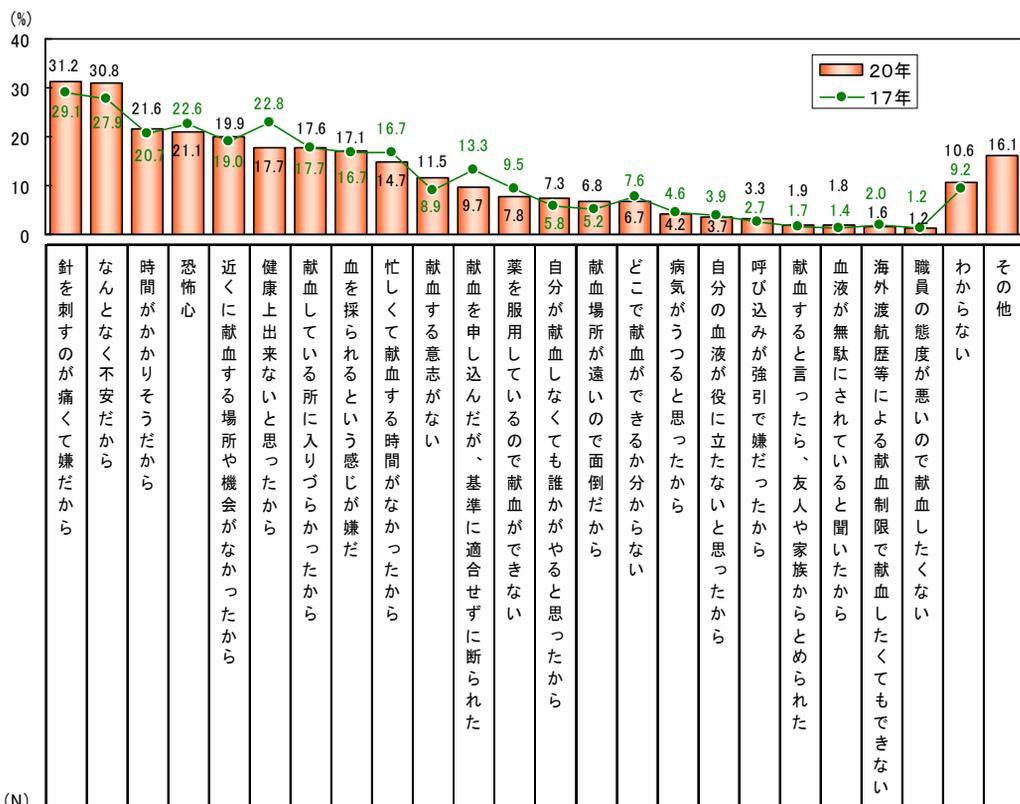
- 『献血』をしたことがない理由を、1位～3位の累計で見ると「針を刺すのが痛くて嫌だから」(31.2%)と「なんとなく不安だから」(30.8%)が上位で拮抗し、主な理由となっている。以下、「時間がかかりそうだから」(21.6%)、「恐怖心」(21.1%)、「近くに献血する場所や機会がなかったから」(19.9%)が2割前後で続き、以上がベスト5。
- 職業別にみると、高校生で「近くに献血する場所や機会がなかったから」がやや高い。公務員は他層に比べて「時間がかかりそうだから」「忙しくて献血する時間がなかった」が高く、その一方で「献血している所に入りづらかったから」がやや低い。なお、専業主婦では1位の理由と同様に、「献血を申し込んだが、基準に適合せず断られた」が他層よりもやや高い。
- 性別では、女性で「健康上出来ないと思ったから」という理由が男性に比べて高くなっている。

- 17年度調査と比較すると、全体では総じて大きな変化はみられない。その中で「健康上出来ないと思った」が5ポイント低下した。
- 職業別では、公務員で「時間がかかりそうだから」「忙しくて献血する時間がなかった」「近くに献血する場所や機会がなかったから」等が上昇。また自営業で「なんとなく不安だから」「血を採られるという感じが嫌だ」という意識がやや高まる。
- 一方、「健康上できないと思ったから」は高校生、会社員、公務員でやや低下傾向。また、大学生・専門学校生は「忙しくて献血する時間がなかったから」、高校生は「どこで献血ができるかわからない」「献血を申し込んだが、基準に適合せず断られた」との理由はやや減少した。



(2)1位～3位累計 (Q15)

Q15. 献血したことがないのはどのような理由からですか。
理由の大きい順に3つまでお選びください。(それぞれひとつずつ)



【基数:対象者全員】

	(N)																			(%)																																																																																	
	20年	17年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98
全体	5000	5000	31.2	30.8	21.6	21.1	19.9	17.7	17.6	17.1	14.7	11.5	9.7	7.8	7.3	6.8	6.7	4.2	3.7	3.3	1.9	1.8	1.6	1.2	10.6	16.1																																																																											
高校生	626	398	30.7	29.4	18.7	22.0	25.9	7.0	17.4	16.1	16.1	11.2	4.8	3.2	6.4	8.6	9.7	2.7	3.2	1.8	1.8	1.9	1.3	0.8	8.8	23.3																																																																											
大学生・専門学校生	1484	932	33.2	31.8	25.1	21.8	17.3	16.6	19.4	20.3	16.0	12.1	8.8	6.8	8.8	6.5	5.1	4.2	2.8	4.1	2.4	1.8	1.8	1.3	7.6	13.5																																																																											
会社員	1545	1596	30.8	30.6	21.5	20.9	18.6	16.9	16.7	17.0	14.8	12.3	11.2	7.8	6.1	7.1	5.8	5.2	3.8	3.6	1.2	1.9	2.2	1.6	11.8	16.3																																																																											
公務員	85	104	31.8	34.1	27.1	18.8	18.8	15.3	11.8	15.3	21.2	9.4	10.6	7.1	9.4	10.6	2.4	1.2	4.7	4.7	1.2	4.7	2.4	-	16.5	10.6																																																																											
自営業	134	115	22.4	27.6	18.7	15.7	22.4	22.4	16.4	17.9	14.9	9.7	9.7	8.2	8.2	5.2	8.2	6.7	7.5	6.7	0.7	2.2	1.5	1.5	11.9	16.4																																																																											
専業主婦	423	856	30.7	29.3	17.7	20.3	21.0	26.2	17.7	13.2	14.2	6.6	16.8	11.6	7.3	5.0	3.8	4.0	2.8	1.4	3.1	1.4	0.7	0.5	15.8	15.8																																																																											
その他	703	999	29.9	31.9	19.1	21.1	22.0	25.7	16.8	13.7	9.8	12.2	8.5	11.4	6.8	6.1	11.5	3.3	5.1	2.4	1.8	1.6	0.7	1.0	11.4	15.5																																																																											
男性	2556	1688	29.3	30.9	24.6	17.7	20.5	12.8	17.1	19.6	16.2	15.3	5.0	5.8	8.5	7.9	8.0	4.1	3.3	4.2	1.1	1.9	1.6	1.4	8.8	17.2																																																																											
女性	2444	3312	33.1	30.8	18.4	24.6	19.4	22.8	18.1	14.4	13.1	7.6	14.7	9.8	6.0	5.7	5.4	4.3	4.0	2.3	2.7	1.8	1.6	1.0	12.4	15.0																																																																											
北海道	210	200	31.4	29.5	21.0	19.0	22.9	21.0	13.8	19.0	11.9	18.1	8.1	8.6	4.8	6.7	4.8	3.3	5.2	1.9	1.9	1.4	0.5	0.5	12.4	15.7																																																																											
東北	355	239	23.9	27.3	22.0	17.2	24.8	19.7	20.0	16.1	16.6	13.2	12.4	9.9	8.2	8.7	7.0	3.4	4.5	3.4	2.3	1.7	1.7	1.1	10.7	13.5																																																																											
関東甲信越	1825	1800	32.6	31.8	22.1	22.4	15.7	18.5	16.9	19.1	13.6	12.1	9.4	8.2	6.9	4.7	4.9	4.8	3.2	4.3	2.0	2.1	1.6	1.1	11.5	16.4																																																																											
東海北陸	780	750	31.3	31.3	19.5	20.8	22.8	18.1	15.0	17.2	14.0	10.5	8.5	6.5	7.2	8.6	10.0	3.3	4.1	2.8	2.1	2.4	1.8	1.3	9.6	16.2																																																																											
近畿	816	850	32.7	32.0	23.8	21.4	21.4	15.0	21.9	16.4	15.9	11.4	8.6	7.2	8.1	6.1	6.4	3.8	3.2	2.7	1.0	1.0	1.6	1.2	8.9	15.4																																																																											
中国・四国	431	450	31.6	29.2	22.3	20.6	20.9	19.0	15.3	14.8	14.6	10.0	8.4	8.4	7.0	10.7	9.0	4.2	4.4	1.4	2.6	2.3	2.1	1.4	10.9	15.1																																																																											
九州・沖縄	583	600	28.3	29.5	18.9	20.6	22.5	15.4	18.7	13.0	17.2	8.7	14.1	6.9	8.1	8.1	7.4	5.0	3.4	3.4	1.7	1.4	1.2	1.5	10.1	18.5																																																																											

注: 17年は「その他」の回答肢なし。



(1) 1位<最も大きな要因> (Q16)

- 『献血』をするきっかけになり得ることを大きい順に3つまで選んでもらった。1位に挙げたのは「針を刺すときに痛みを和らげる処置が実施された」点で12.1%。前述の献血をしたことがない理由でも「針を刺すのが痛くて嫌だから」が1位だったことから、やはり“針を刺す時の痛さ”が献血へのネックとなっていることが窺える。
- 以下、「家族や友人などから勧められた」(11.4%)、「献血しているところが入りやすい雰囲気になった」(8.6%)、「近くに献血する場所ができた(献血ルーム)」(7.1%)の順で続く。
- 職業別にみると、1位の「針を刺すときに痛みを和らげる処置が実施された」は公務員でやや高く、自営業で最も低い。その自営業では「献血は絶対しない」がほぼ1/4と多い。
- 性別・地域別による違いはあまりみられない。その中で、北海道で「献血は絶対にしない」が他の地域よりもやや高い。

- 17年度調査と比較すると、全体では「献血しているところが入りやすい雰囲気になった」を挙げる割合が約9ポイント減少したのが目立つ。一方、「献血は絶対にしない」を挙げる割合が増加している。
なお、「近くに献血する場所ができた」は、今回、(献血ルーム)と(献血バスまたは出張献血)に回答肢を分けたため、前回との比較は参考程度となるが、概ね大きな違いはみられない。
- 属性別にみると、各層とも総じて「献血しているところが入りやすい雰囲気になった」が減少、「献血は絶対にしない」が増加しているのは共通。
- それ以外では、公務員で「献血の重要性が明確になった」がやや上昇。一方、自営業で「針を刺すときに痛みを和らげる処置が実施された」が前回に比べてやや低下している。